

講義名	日本語D (話す)			授業形態	
担当教員	戸田 あゆみ	開講期・曜日・時間	前期 木曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

**主題と概要**

この授業は、留学生を対象とし、「話す」スキルに重点を置く。大学生活において必要な語彙を学び、場面設定に応じた会話ができるように授業を進める。また、プレゼンテーションやディスカッションなどの活動を通して、伝達能力やコミュニケーション能力の養成を促す。

**到達目標**

- ・場面に応じた語彙を使い、適切な会話ができる。
- ・プレゼンテーションやディスカッションなど大学生に必要な技能を身につける。
- ・自分の言いたいことを自分の言葉で伝えるようになる。
- ・聞き手を意識しながら内容を調整したり整理して伝えられるようになる。
- ・他の学生の意見を聞くことにより、多様な価値観を認めることができるようになる。

**提出課題**

課題や準備など授業中に指示する。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

授業時に全体に対して、もしくは個別にフィードバックを行う。

**評価の基準**

授業態度および参加度 50%  
 授業内のパフォーマンスの総点 30%  
 最終発表 20%

**履修にあたっての注意・助言他**

出欠は毎回とする。全授業回数のおよそ1/3以上欠席した場合は、単位の認定ができない。連続3回でこの欠席となる。15分以上の連続は欠席となる。真面目かつ積極的な授業参加を望む。

**教科書**

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

**参考図書**

.アカデミックプレゼンテーション入門.	三浦書田ほか	ひつじ書房	2420	9784894763371
.日本語超絶話者へのかけはし.	萩原雅佳子ほか	スリーエーネットワーク	2420	9784883194490
.新訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級後期.	安藤節子ほか	スリーエーネットワーク	1650	9784883197873

**その他**

授業中にプリントや資料を配布する。

**授業計画**

1. 授業オリエンテーション・Show&Tell  
 予習内容：画像など用意して話す内容を考えしておく（120分）  
 復習内容：授業で学んだ語彙や表現方法の整理と復習（120分）
2. 自分をアピールする  
 予習内容：資料の単語の意味や用法を調べる（90分）  
 復習内容：課題を行う（150分）
3. 自分をアピールする  
 予習内容：課題のチェック、読みの練習も行う（120分）  
 復習内容：授業で学んだ語彙や表現方法の整理と復習（120分）
4. 言語コミュニケーションについて  
 予習内容：テーマについて予備知識を蓄える（120分）  
 復習内容：授業で学んだ語彙や表現方法の整理と復習（120分）
5. 非言語コミュニケーションについて  
 予習内容：テーマについて考え、周辺情報を集めておく（120分）  
 復習内容：授業で学んだ語彙や表現方法の整理と復習（120分）
6. インタビュー活動について  
 予習内容：クラス活動に向けて準備（180分）  
 復習内容：授業で学んだ語彙や表現方法の整理と復習（60分）
7. 言葉について  
 予習内容：今週のテーマに関する資料の予習（120分）  
 復習内容：授業で学んだ語彙や表現方法の整理と復習（120分）
8. 言葉について グループワーク  
 予習内容：今週のテーマに関する資料の予習（120分）  
 復習内容：グループで創作会話を完成させる（120分）
9. 言葉について グループ発表  
 予習内容：創作会話の練習（120分）  
 復習内容：授業で学んだ語彙や表現方法の整理と復習（120分）
10. 数値の示し方  
 予習内容：テーマの人物に関する資料を読んでおく（120分）  
 復習内容：授業で学んだ語彙や表現方法の整理と復習（120分）
11. 数値の示し方  
 予習内容：テーマに関する資料を読んでおく（120分）  
 復習内容：授業で学んだ語彙や表現方法の整理と復習（120分）
12. 最終発表の説明、テーマ決定  
 予習内容：テーマに関する資料を読んでおく（120分）  
 復習内容：授業で学んだ内容の整理と復習（120分）
13. 最終発表  
 予習内容：発表者は発表の準備（180分）  
 復習内容：授業で学んだ語彙や表現方法の整理と復習（60分）
14. 最終発表  
 予習内容：発表者は発表の準備（180分）  
 復習内容：授業で学んだ語彙や表現方法の整理と復習（60分）
15. 時事問題

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

現実社会の様々なテーマに関する個人発表を通して、課題発見力、情報収集力、および、それらの情報を多角的に分析する情報分析力を向上させる。さらに、自ら進んで課題に取り組み自主・自立の精神を育てる。また、グループワーク等を通して、人と円滑なコミュニケーションをとり、仲間と協同して物事を成し遂げられるようになる。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**